

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第27回 2013年10月開催 「今」支援すべきは・・・誰? の巻

世は運動会や秋祭りシーズンの3連休の最中。

研究会へは今回の参加が初めてという新メンバーと、また、昨年の夏以来久しぶりに参加して下さる先生との2名を迎えての10月研究会。新鮮な空気感と、「はじめまして」の雰囲気や全く感じさせないあたたかい空気感との両方を湛えた空間で、今回も充実の学び時間でした。

本日提供された事例は、不登校生徒への支援の方向性についてでしたが、見えてきたのは担任先生の「行き詰まり感」と「息詰まり感」。よく言われる“大変な学校”という言葉で片づけられがちで、学校組織の裏にうごめくものは…。久しぶりに組織相関図を描きながら検討すると、事例についての色々な方面からの支援の可能性が見えてきました。ケースには、そのケースにかかわっている人への（もしかしたらそれ以上の数の）見立てが必要で、その中から展開していく支援の優先順位を考えることも、今日の学びのひとつだったように思います。

記録： さかも（臨床心理士）

日 時：2013年10月13日（日）18:30～20:30

場 所：茨木市男女共生センター ローズWAM

参加者：6名（大阪府SC、兵庫県SC、奈良県SC、京都府SC）

本日の話題：

1. 輪読「アタッチメントと臨床領域」第10章
2. ある不登校事例・・・から発展、久々の「組織アセスメント」

次回開催予定：2013年11月24日（日）13:00～15:00